

緑がよりキレイに映える新緑の撮り方とカメラの設定ポイント

* 新緑を撮るときのカメラの設定

カメラのオート設定で撮ると緑がくすみやすいですので、ご自身で設定をコントロールしてみましょう。カメラの設定に関しては、大きくポイントは3つとなります。

- ホワイトバランスは寒色系を選択する
- ホワイトバランス補正で緑を強める
- 撮影モードを「風景モード」などに設定する

ホワイトバランスは寒色系を選択する

ホワイトバランスを寒色系に変更することで、緑がより強く出ます。これだけでもかなり効果が大きいはず。

まずは白色蛍光灯あたりをベースに設定してみましょう。

実際にホワイトバランスがオート設定の写真(左側)と白色蛍光灯に相当する設定(右側)の写真を見比べてみよう。



撮影モードを「風景」などに変更する

さらに写真にメリハリを付けると、新緑がより際立って見えます。カスタムイメージ(PENTAX の場合、各カメラメーカーによって呼称が異なる)で「風景」もしくは「ビビッド」あたりを使うのがおすすめです。

実際にホワイトバランスを白色蛍光灯相当+WB 補正で緑をプラス補正した写真(左側)と、その設定にカスタムイメージ「風景」を設定した写真(右側)を見比べてみましょう。

